

5章 構造物及び設備の被害状況

5.1 奥州市の被害

5.1.1 被害概要

奥州市の水道施設被害は次のとおりである（図4.5参照）。

- ① 石渕簡易水道では谷子沢水源の濁度が上昇した。
- ② 北股簡易水道の北股浄水場では緩速ろ過装置が沈下し、ろ過能力が減少した。
- ③ 衣川簡易水道鳴沢水源が高濁度となり取水停止とした。
- ④ 衣川簡易水道の上立沢水源は、余震による取水口への土砂崩壊のため、水量が減少。
- ⑤ 取水施設では、石淵ダムの提体の一部に変状が発生、また胆沢ダムでは提体下段仮排水トンネルの呑口が閉塞した。
- ⑥ 谷子沢水源・尿前配水池のテレメーターが停電となり配水池水位・流量が正確に確認できない事態が発生した。



写真5.1 北股浄水場被災状況



写真5.2 衣川簡易水道鳴沢水源高濁度状況

5.1.2 応急対策の状況

(1) 石渕簡易水道

胆沢区の石渕簡易水道の市野々配水区域での断水に対しては若柳配水系と連絡管を使用し断水を解消した。

その後、谷子沢水源からの導水管が破損しているのが確認されたため、水源地から3.3kmの仮設導水管を布設し、仮設配水池（写真5.3）を経て、既設の導水管に接続し送水した（図4.7参照）。



写真5.3 仮設配水池設置状況
（石渕簡易水道）